

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

February
ISSUE



February, 2022
Volume 120

世界をよりよい場所にするために

先日、新聞に目を奪われる広告が載っていました。その広告には「男でも、首相になれるの？」とのキャッチコピーが付けられており、鮮明な背景の赤とともに私の目を奪ったのです。「どういう意味だろう？」—キャッチコピーの下に付けられている説明を読んで合点がきました。

この広告の背景になっている赤は、女性の服の色。どうやらツーピースのスーツのようです。写真のほぼ中央には、女性が両手の指さきを合わせておなかに据えている様子が写されています。

実はこれ、ドイツの前首相のメルケル氏のようなのです。説明書きには「ドイツでは、子どもたちからこんな質問が出るらしい。16年間、女性が首相を務めた結果だ。」と書かれています。これを見て、私はなんだかとても嬉しい気持ちになりました。日本ですと、子どもたちから出てくる質問は、もしかすると「女でも、首相になれるの？」なのかもしれません（私の偏見かもしれませんが）。そう思ったとき、ドイツで子どもからこのような質問が出ることを、とても嬉しく思ったのです。

私たちが常日頃「当たり前」「常識」と思っていることは、実はそうではないことが多いように思います。職業だけでなく、「男の子なんだから泣いちゃだめよ。」「女の子なんだから、片付けぐらいしなさい。」等、普段ふと口にしてしまう言葉の中にも、大人の価値観を子どもたちに伝えてしまっている状況があるように思います（私自身、大変反省いたしました）。

SDGs は、世界中の人々がよりよく生きられる

社会を皆で作るための 17 のゴールを掲げています。その中の 5 番には「ジェンダー平等を実現しよう」との目標が設定されており、今回の広告と重なりました。（広告を見たい方は「宝島企業広告」「男でも、首相になれるの？」で検索ください。）

女の子にも平等に教育を受けさせることの大切さを訴えたマララ・ユスフザイさんの本に「マララのまほうのえんぴつ」（ポプラ社）があります。自分が欲しいものを鉛筆でかくと実物になる、との素敵なコンセプトで始まるこの本は「一人の子ども、一人の先生、一冊の本、一本のペン、それらで世界を変えることはできるのです。」との言葉で締めくくられています。

誰にとっても住みよい世界を作ること、そのために教育が果たす役割が大きいことは言うまでもありません。教育は学校だけではなく、ご家庭で、地域で、社会で、皆さんとともに進んでいくものです。私たち大人が、子どもたちに伝える言葉に敏感になり、周りの人たちに対する思いやりを忘れないように行動すれば、世界はよりよい場所になっていくと信じています。

副校長 ロハス 亜紀



キリスト教教育

2月：愛 February: Love

「あなたは生まれた地と親族、父の家を離れ 私が示す地に行きなさい。
私はあなたを大いなる国民とし、祝福し あなたの名を大いなるものとする。
あなたは祝福の基となる。」

(創世記 12 章 1-2 節 聖書協会共同訳)

上掲の聖書箇所はイスラエル民族の父祖となったアブラハムという人が、初めて神から召命を受けた時に語られた言葉です。

既に老年になっていたことを除けば、その突然性と後に続く奇跡的出来事は、新島襄の脱国を彷彿とさせるものがあります。

昨年 11 月 29 日午後 3 時より、今出川キャンパス寒梅館にて「同志社創立 150 周年記念イベント Doshisha New Day」が行われました。同志社は 2025 年に創立 150 周年の節目を迎えますが、これを記念するために今年度より様々な事業を展開することになったのです。

<https://youtu.be/-3nroETtnhg>

(当日の動画はこちらから見られます。まだご覧になっていない方は、是非とも最初からご視聴ください。) この日のプログラムの終盤に「同志社に関するオリジナルソング」という項目があって、シンガーソングライターの伊藤 誠氏より「あなたの愛がとめどなく降りそそぐ」~新島襄先生に捧ぐ~という歌が披露されました。

あなたの愛がとめどなく降りそそぐ ~新島襄先生に捧ぐ~

詞・曲 伊藤 誠

風に向かい進む 朝陽を受けながら
デッキに立つ 心にみなぎる熱い志
大海原の先 たとえ苦しくとも
挑み 学び 一筋の道を行く 誇りを胸に
大いなる神の愛に導かれ
かけがえのない人たちと出会い
揺るぎなく清らかな愛であればこそ
時を越えて 紡がれ続けてきた
あなたの愛が 沁みわたる
心ふるえて 言葉にならない
あなたの愛が 沁みわたる
魂に 語りかけるように



同じ志が ひとつまたひとつ
引き合うよう 繋がり重なり合って悠々と
築かれた歴史は 新たなる未来へ
委ねられる私たちは 遥かな夢の継ぎ人
順風に慢心することなく
あえて風雪望む凛々しさを
教わりし学び舎こそ 心のふるさと
育まれた良心 携え進む
あなたの愛が 降りそそぐ
まばゆいほどに 満ちあふれてくる
あなたの愛が 降りそそぐ
仰ぎ見る 私たちの上に



あなたの愛が 降りそそぐ
心ふるえて 言葉にならない
あなたの愛が 降りそそぐ
仰ぎ見る 私たちの上に

おしみなく とめどなく
おしみなく とめどなく



伊藤 誠氏は 1976 年に同志社大学商学部を卒業された方で、私などにとっては大先輩に当たります。上掲の動画にて、その素晴らしい歌声をご自身で確かめていただきたいと思います。

伊藤誠氏オフィシャルサイト <http://itomakoto.net/>

Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓

<お知らせ>

- ・ 2 月 12 日 (新暦) は、同志社の創立者・新島襄の生誕記念日です。
- ・ 今月の「おにぎり献金」は 2 月 8 日 (火) です。感染症予防のため、ご協力いただける方は封筒などの袋に入れてお子様にお持たせくださいますよう、よろしく願いいたします。

Grade 1 Unit 5 Where we are in place and time

1年生 Unit5 では、「私たちは旅や移動によって、新しい経験をして変わる」という Central Idea で学習を進めました。Key Concept は「Causation」「Change」です。これまでの Unit 同様、ご家庭のご協力を頂いたり教科を横断したりして学びを深めました。

まず始めに、「Form: 旅とは何か。」という質問を子ども達に投げかけました。すると、「遠くへ行くこと」「違う国へ行くこと」「引っ越しをすること」「お勉強するためにどこかへ行くこと」「大人になること」「旅行をすること」「冒険をすること」など、子どもたちが考える「旅」がたくさんありました。また、「移動(旅)をすると、どんなことができるか。」について、自分達の「移動(旅)」した経験を振り返りました。

- ・引っ越しをした経験 → 新しいお友達を作ることができた。
- ・行ったことのない場所へ行った経験 → 新しいことに挑戦できた。
- ・知らない国へ行った経験 → 新しい言葉を覚えた。

など、経験を振り返りみんなで共有する中で、移動(旅)することによって、新しい物事や人と関わる事ができると気づきました。

その後、「Causation: どうして旅をするのか。」「Change: 旅をしてどう成長・変化したのか。」という Key Concept を意識しながら、色々な「旅」の情報を収集しました。絵本を読んだり保護者の方へ「旅」のインタビューを行ったり、本校の先生や他の学校の先生から Zoom で旅のお話を伺ったりして、旅には様々な目的があることや、それによって得られたことや経験したこと、自身の変化・成長を知りました。



Summative Assessment では、生まれてから小学校1年生までの「人生」という旅を振り返りながら「自分史」を作成しました。その際、日本語の学習で iPad を使用し「自分史原稿の書き方」を学び、始めに「いつ・どこ(で)・だれ(に)・何があったのか。」、次に「その出来事についての詳しい内容」、最後に「感想(その時の気持ち)」を書く「文章構成」を理解しました。(これは、Unit6 の学習にもつながるので、引き続き学びを継続していきます。)自分が生まれてからどんなことがあって、どんなことができるようになったのかを振り返るとともに、これから自分はどんなふうに成長したいかを考え発表しました。



Unit5 で、様々な選択や判断をしながら人は旅をしていくことや、旅が人に変化をもたらすこと、自分がこれからも新しいものに触れて変わっていくことを理解しました。4月から2年生になる子ども達。これからも、たくさんの経験をして色々な選択を行いながら、大きく成長してほしいと思います。



からのおしらせ

自分をもっと好きになる本

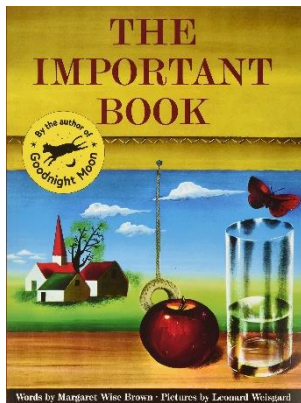
今月は、みなさんに自分をもっと好きになるきっかけとなる本を紹介したいと思います。たくさんあるのですが、今回はその中でも新刊として DIA 図書館に入ってきたもの 1 冊と、英語の絵本”The Important Book”（まさしく文字通りですね）をご紹介します。冬の寒さでふと淋しくなったり気持ちが落ち込んでしまったりした際には、是非読んでみてください。

「すきなこと にがてなこと」作：新井洋行、絵：嶽まいこ
くもん出版（2021年）



みなさんには、好きなことや苦手なことはありますか。好きなことは得意なことだから心配いらないけど、苦手なことってどうしたらいいでしょうか。だれにでもある「苦手なこと」。一見スーパーマンに見える人だって、何かしら苦手なことはあるものです。

苦手なことって、避けたいけれど避けて通れないことがあるのも世の常です。そんなときに読んでもらいたいのがこの絵本。得意なことと苦手なことがあるからこそ、世界は回っているのです。ぜひお話の結末を、ご家族で読んでもらいたい 1 冊です。



“The Important Book” Words by Margaret Wise Brown, Pictures by Leonard Weisgard (1977)

普段何気なく使っているスプーンですが、スプーンが大切なのは、それで食べ物を食べていること。雨は、濡れていることが大事、野原は緑であることが大切。当たり前のように思うことがつぶられていきます。では、「あなた」について、大事なことは何でしょう。答えはぜひ、本で探してみてくださいね。

2月の主な行事・予定

1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	Unit 6 (week 3)
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	建国記念の日 / Japan's Foundation Day
12	土	
13	日	
14	月	Unit 6 (week 4)
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	タレントショー（動画視聴）/ The Talent Show (Video Viewing)
19	土	
20	日	
21	月	Unit 6 (week 5)
22	火	
23	水	天皇誕生日 / Emperor's Birthday Holiday
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	Unit 6 (buffer week)

3月の主な行事・予定

3/14-	学期末カンファレンス(希望者のみ)
3/15	Term Conferences (午前授業/AM lessons)
3/16	卒業式(1年 - 5年自宅学習) / Graduation (G1-G5 No classes)